区政と議会のホンネを報告！

せたがや 1/52

〒157-0063　粕谷 3-15-3 (TEL&FAX　3307-1179)

http://www.t3.rim.or.jp/~110ban/
http://ooba.muse.bindsite.jp/
世田谷行革 110 番
区議会議員 おおば正明
第 45 号 B　2011 年 1 月

私のホームページをご覧下さい！下のどちらの URL も同じ内容です。（下段は非常用ミラーサイトです）

http://www.t3.rim.or.jp/~110ban/
http://ooba.muse.bindsite.jp/

報告 せたがや政策会議 → みんなの党・世田谷行革110番

緊急号！

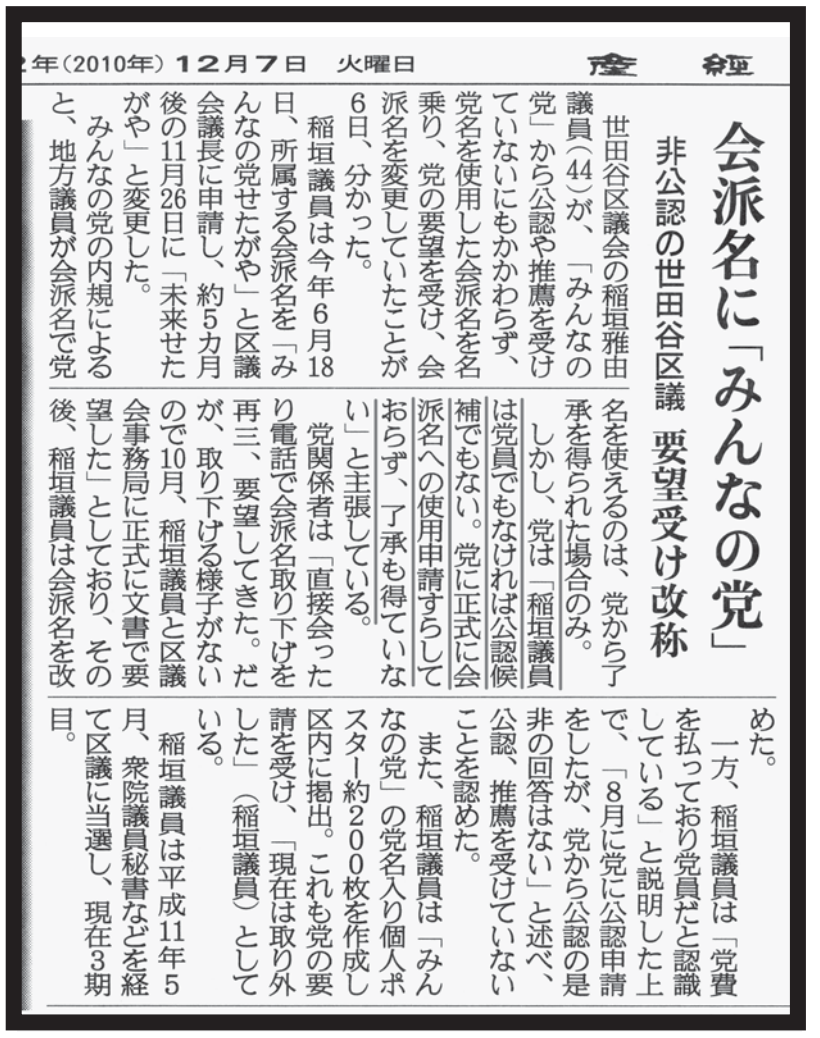
議会での会派名が変わりました！

議員控室の看板もこのように

●田中優子議員が「みんなの党」に入ることになり、これまでの会派「せたがや政策会議」をどうするか協議を重ねた結果、円満解消となりました●私自身、夏の参院選で「みんなの党」を支援し、その考え方が「世田谷行革 110 番」と同じだと感じていたので違和感もなく、引き続き田中優子議員と会派を組むことにしました●また「みんなの党」と「世田谷行革 110 番」の対等合併のような会派名称も気に入っています（みんなの党本部の了承済み）●少し長いですが「みんなの党・世田谷行革 110 番」をよろしくお願いします（私が「みんなの党」に入った訳ではありません。あくまでも議会での会派のことです。）

その前に一つ困った問題がようやく解決 ➡

●右は 12 月 7 日の産経新聞に載った “ 事件 ” の顛末です。この件があったので現在でも「世田谷行革 110 番」は誰と会派を組んだのかと誤解されているようです●上記したように「みんなの党」の田中優子議員と会派を組んだのであって党員でもない議員とは一切関係がありません●それにしても何とも厚かましい限りの “ 事件 ” であり、驚きの真実といったところです。



年（2010年）12月7日　火曜日　産経

会派名に「みんなの党」

非公認の世田谷区議 要望受け改称

世田谷区議会の稲垣雅由議員（44）が、「みんなの党」から公認や推薦を受けていないにもかかわらず、党名を使用した会派名を名乗り、党の要望を受け、会派名を変更していたことが6日、分かった。

稲垣議員は今年6月18日、所属する会派名を「みんなの党せたがや」と区議会議長に申請し、約5カ月後の11月26日に「未来せたがや」と変更した。

みんなの党の内規によると、地方議員が会派名で党名を使えるのは、党から了承を得られた場合のみ。

しかし、党は「稲垣議員は党員でもなければ公認候補でもない。党に正式に会派名への使用申請すらしておらず、了承も得ていない」と主張している。

党関係者は「直接会った際や電話で会派名取り下げを再三、要望してきた。だが、取り下げる様子がないので10月、稲垣議員と区議会事務局に正式に文書で要望した」としており、その後、稲垣議員は会派名を改めた。

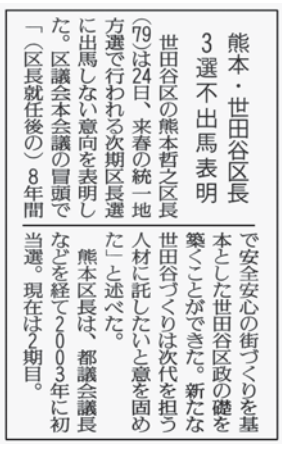
一方、稲垣議員は「党費を払っており党員だと認識している」と説明した上で、「8月に党に公認申請をしたが、党から公認の是非の回答はない」と述べ、公認、推薦を受けていないことを認めた。

また、稲垣議員は「みんなの党」の党名入り個人ポスター約200枚を作成し区内に掲出。これも党の要請を受け、「現在は取り外した」（稲垣議員）としている。

稲垣議員は平成11年5月、衆院議員秘書などを経て区議に当選し、現在3期目。

少し長めの編集後記・4 年を振り返って

●12 月議会では「熊本区長が 3 選不出馬表明」をして 8 年間の熊本区政にピリオドを打つことになりました（下掲 11 月 25 日読売新聞参照）●当初の「よどみしがらみを断つ」「区役所の常識は世間の非常識」等々強い意気込みだったものの大病後は仕方なく役人にお任せ状態に●この間、私は会派を組み、一時期は 5 人の会派までに。一人会派とは違い、まず会派内での議論と情報共有という作業が大変でしたが、議会運営委員会の理事として、議会改革に手をつけることが出来たことは前進でした●一人会派の時に訴えて出来なかったこと、費用弁償（交通費）の実費支給も今年の 6 月議会で公共交通機関を利用した場合の実費支給に改正●また政務調査費の 1 円単位の領収書全部をインターネットで公開することも今任期中の平成 19 年夏から実施された●さらに今号でもお伝えしたように、議員定数の 50 への削減もどうにか任期中に実施できました●どれも全国の議会の最先端を行くことで、区議会は古いしがらみを断つ方向に向かっています●ただし残念だったのは「選挙管理委員の日額」条例案については、12 月議会で民主党や無党派の木下議員と一緒になって提案したものの、議員定数削減とは反対に自公の反対で今回（2 度目の提案）も否決。なお今回は生活者ネットが賛成に回り少しづつ増えて 17 名の賛成（前回 11 名賛成）になった●このように「みんなの党・世田谷行革 110 番」は自公であれ、一人会派や民主であれ、「正しい選択」を目指すのであれば一緒にやるスタンスを前面に打ち出しています●今回会派は 2 人となり議会運営委員会の理事を降りましたが「世田谷行革 110 番」としては「みんなの党」とタッグを組み、春以降の新たな展開を考えています。



熊本・世田谷区長 3選不出馬表明

世田谷区の熊本哲之区長（79）は24日、来春の統一地方選で行われる次期区長選に出馬しない意向を表明した。区議会本会議の冒頭で「（区長就任後の）8年間で安全安心の街づくりを基本とした世田谷区政の礎を築くことができた。新たな世田谷づくりは次代を担う人材に託したいと意を固めた」と述べた。

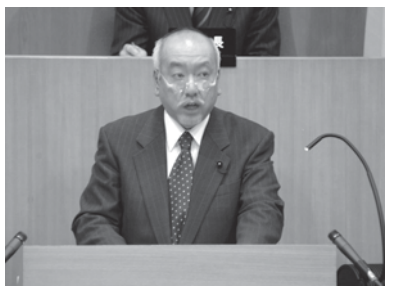
熊本区長は、都議会議長などを経て2003年に初当選。現在は2期目。

みんなの党について

●裏面には 2010 年 10 月 8 日の専門紙「都政新報」に載った長文の座談会を再録してあります。字が小さいですが、好評だったので時間があればお読み下さい●それにしても民主党政権のひどさには呆れます。本当にこんな政治で良いのだろうか、こういう思いが「みんなの党」とタッグを組む要因となりました●私もそれなりの議員活動の中でこれまで幾つもの新党の盛衰を見て来ました●風が吹きブームに乗って多くの人が地方議員となり、まとまりもなくバラバラのまま、選挙要員として駆り出され、次から次へと国会議員が誕生する●あるいは逆にブームに乗って国会議員が誕生し、その私的関係の濃淡で公認が乱発され、地方議員が誕生する●いづれの場合も新党の地方議員でありながら、互いに真摯な議論と意見集約ができずに勢力争いや内紛に明け暮れそのうちにブームが去り、彼らもまた政治の舞台から消えていく繰り返しでした●新党の制度設計もないままブームだけで当選した議員の陥る先は、当選した後に何をしていいのかわからない、という本末転倒の現実でした●結局、地方議員がしっかりまじめに（選挙活動とは別に）議員として勉強することで、国会議員を見抜く力を養うしか、この国を良くする方法はないのです。外交・安保を除けば、すべての問題は地方議会で取り上げられています●地方議会から国政を見れば、国がやるべき課題は山のように見えてきます●地方議員の目が肥えれば、国政を担うべき人物の選定も厳しくなるでしょう●「みんなの党」は現在、何度目かの新党ブームの途上にあります。この新党の政策は「世田谷行革 110 番」とほとんど同じで、何としても過去の蹉跌は踏んではならない。というのが私の偽らざる気持ちです。

正しい選択

●今回の（株）世田谷サービス公社の問題は複雑です。引き続き、次回以降もこの問題を取り上げていきます●会派名称変更で久々に「世田谷行革 110 番」の復活です。時代は再び大きな行革を求めています。行革のエースとして今後とも地道に議員の務めを果たし、区民の皆様にご報告します●「みんなの党」とは田中優子議員を窓口として社会経験豊かな “ 新人 ” の方々とも新しい区政のあり方について協議を重ねているところです●今回の選択が区民の皆様にとって正しい選択だと言っていただけるよう、頑張りたいと思います。



区議会議員　おおば正明